

鳥取市立賀露小学校の歴史

江戸時代の終わり、子どもたちは、寺子屋や学習塾で教育を受けていました。賀露の寺子屋は賀露神社、東善寺、西念寺にありました。学習塾は、二区の岸本家など有識者の家でした。



錦絵 ぶんがくばんだい たから 文学万代の宝 より いっすんしはなさと 一寸子花里 画
弘化年間 (1844~1848) 頃
出典 Wikipedia

男子は習字や算術、女子は手芸・裁縫・礼法などを教わっていました。寺子屋等で使われた教科書を総称して「往来物」といいます。



出典 東京都立図書館ホームページ

近代国家を目指した明治政府は、1872（明治 5）年、日本最初の学校制度を定めた学制を公布しました。学校教育を公立・私立の小学校・中学校・高等学校の 3 つの段階に分け、学校の組織やカリキュラム、教科の内容なども規定されました。小学校は、下等小学 4 年、上等小学 4 年の 8 年制として始まりました。



出典 国立教育政策研究所教育図書館貴重資料
デジタルコレクション



出典 近代教科書デジタルアーカイブ

翌 1873 (明治 6) 年 5 月、賀露村に甲校、乙校の二つの小学校が誕生しました。

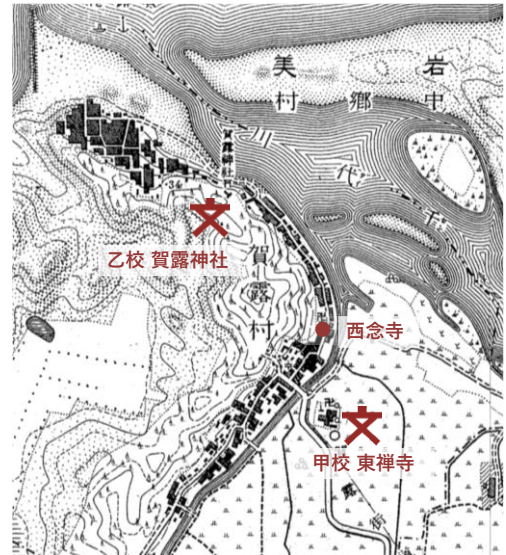
甲校は賀露村東善寺の庫裏 (くり)、乙校は賀露神社宮司岡村喜保氏が開設していた寺小屋を借りて使用しました。当時は義務教育ではありませんでした。行きたい子が行く、勉強したい子が勉強するという学校でした。

甲校 (東善寺 庫裏)

- ・ 名称：第四大学区第二中学区第二十四番賀露小学
- ・ 校下：賀露村のうち字切戸・中小路・上小路 (現在の一区・二区)、南隈村、晩稲村
- ・ 児童数：男 51 名、女 9 名 計 60 名



昭和 52 年頃の東禅寺本堂 (写真左) と庫裏 (写真右)



乙校 (賀露神社内宮司 岡村喜保宅)

- ・ 名称：第四大学区第二中学区第三十五番賀露小学
- ・ 校下：賀露村のうち字下小路・港ノ一・港ノ二・港ノ三 (現在の三・四・五・六区)
- ・ 児童数：男 57 名、女 8 名 計 65 名

※ 西念寺

西念寺は、1808 (文化 5) 年に一区 (庵寺) から二区の現在の地へ移転建立されました。この時代に「西念寺老師ニ漢学修ム」と記録されている書物があります。西念寺も賀露神社や東禅寺と同じく近所の子どもたちの教育の場でした。

※ 学習塾

学習塾は、当時の有識者の家庭などで開かれていました。賀露小学校創立 90 周年記念誌には、二区の岸本家で開かれていたと記録されています。



1875 (明治 8) 年	<ul style="list-style-type: none"> ・甲校を第四大学区第十六中学区第四番賀露甲学校、乙校を同第七番賀露乙学校に改称 (4 月頃) ・裁縫専修科を設置 (9 月 15 日)
1876 (明治 9) 年	<ul style="list-style-type: none"> ・賀露乙学校を廃止し、賀露甲学校へ合併 ・第四大学区第十九番中学区第二十二番賀露小学校と改称 (3 月)

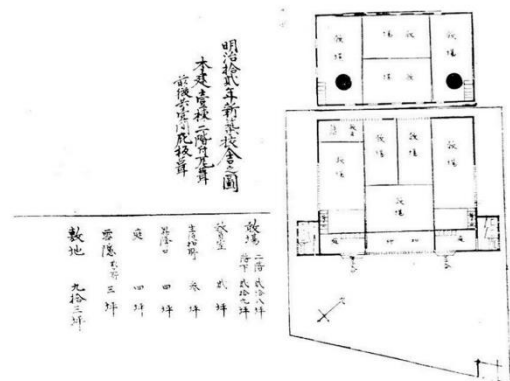
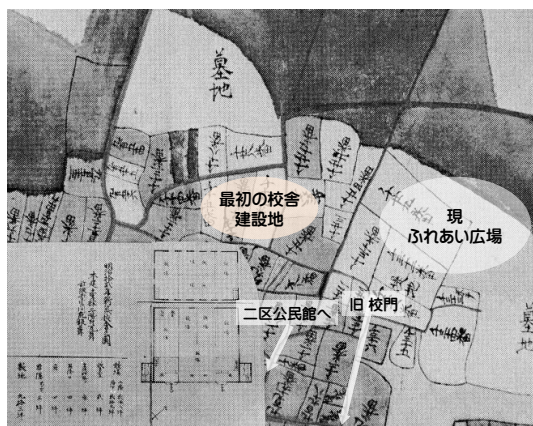
1876 (明治 9) 年、賀露乙学校は賀露甲学校へ合併し、第四大学区第十九番中学区第二十二番賀露小学校と改称しました。

※ 1877 (明治 10) 年 1 月 29 日～9 月 24 日 西南戦争

西南戦争は、政府の政策に反対する西郷隆盛率いる反乱軍と、政府軍との戦争でした。鳥取県の士族は、新政府軍としてこの戦争に参加しています。

1879 (明治 12) 年	<ul style="list-style-type: none"> ・賀露村字中小路 1019 番地に、初めて校舎を新築 (2 月) ・開校以来、初めて 5 名 (男 2 名、女 3 名) が卒業 ・南隈村、晩稲村が校下より分離 (7 月 16 日) 2 村は安長小学校 (後の千代水小学校) 区となる
1880 (明治 13) 年	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県因幡国高草郡賀露村賀露小学校と改称 (7 月 2 日) ・賀露村字港ノ二、582 番地 (現四区) に分教場を設置 (建坪 12 坪 2 合 5 勺) (12 月 27 日) (1882 (明治 15) 年に廃場) ・裁縫専修科廃止 (3 月)

1879 (明治 12) 年、現在のふれあい広場の近く (岸本正義校長宅の隣地) に、初めて校舎が建てられました。瓦葺き二階建て一棟、床面積 73 坪 (約 241.3 m²)、敷地面積 93 坪 (約 307.4 m²)。この年、開校以来、初めて 5 名 (男 2 名、女 3 名) が卒業したと記録されています。



最初の校舎の設計図と所在地の地図
出典 賀露校創立百周年記念誌

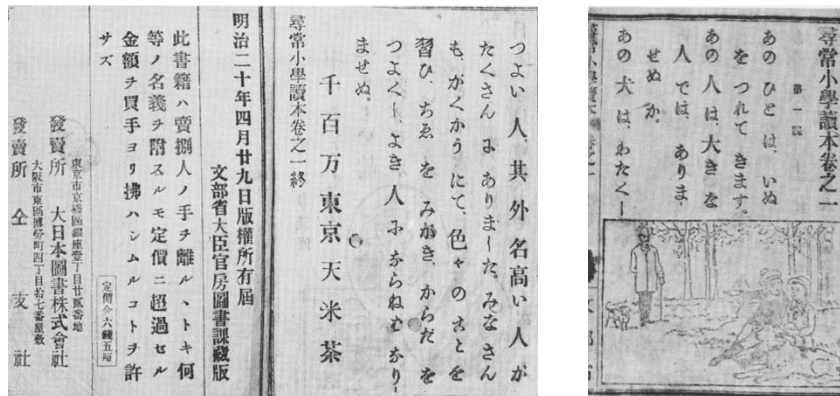
1880 (明治 13) 年、鳥取県が廃止されて島根県に併合されたことにより、校名が島根県因幡国高草郡賀露村賀露小学校と改称されました。

また、賀露村字港ノ二 582 番地 (現四区) に分教場 (床面積約 40 m²) が設置されましたが、不便であったため 1882 (明治 15) 年に廃場となりました。

※ 廃藩置県と再配置

- 1871（明治4）年7月14日 廃藩置県により鳥取藩が鳥取県となる
- 1876（明治9）年8月21日 鳥取県が廃止され、島根県に併合される
- 1881（明治14）年9月12日 鳥取県が再置される

1886（明治19年）、第一次小学校令により尋常小学校（修業年限4年）と高等小学校（修業年限4年）が設置されました。尋常小学校の4年間は義務教育期間でしたが、尋常小学校修了後の高等小学校4年間は義務教育ではありませんでした。この時、賀露小学校には高等小学校は設置されませんでした。



6区小林増蔵氏使用の当時の国語教科書 出典 賀露校創立百周年記念誌

1887（明治20）年	<ul style="list-style-type: none"> ・高草郡第三尋常小学区と改称（1月31日） ・賀露簡易小学校を併置（2月12日） ・鳥取県第三尋常小学区賀露尋常小学校、鳥取県第三尋常小学区賀露簡易小学校と改称（3月25日） ・高等科は併置せず、子弟は因幡高等小学（市立久松小学校前身）へ
1890（明治23）年	<ul style="list-style-type: none"> ・高草郡第五尋常小学区と改称（3月26日）
1892（明治25）年	<ul style="list-style-type: none"> ・高草郡賀露村立賀露尋常小学校と改称（4月16日）
1893（明治26）年	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎修繕・増築 雪隠1棟（5坪）、廊下（4坪）、裁縫室1棟（10坪）新築 ・補習科設置 修業年限2年

1887（明治20）年、賀露簡易小学校が併置されました。簡易小学校は貧しい家庭の子どもの就学率を高めるため設けられた学校です。授業料は不要で、3年制でした。

1892（明治25）年、高草郡賀露村立賀露尋常小学校と改称されました。

翌1893（明治26）年、大規模な校舎の修繕・増築が行われ、新たに裁縫室も建てられました。また、補習科も設置されました。補習科は尋常小学校を卒業した者、若しくは同等の学力がある者の学力を更に向上するために設けられたものです。創立90周年記念誌には「女兒」との記載があり、女子の学力向上を目的とした補習科であったと思われます。

※ 1894（明治27）年7月25日～1895（明治28）年4月17日 日清戦争

1896（明治29）年	・気高郡賀露村立賀露尋常小学校と改称（10月1日）
1897（明治30）年	・旧校舎内の改造及び教室18坪を新築
1900（明治33）年	・補習科女生徒の裁縫教授を廃止
1901（明治34）年	・公立賀露尋常小学校と改称（2月13日）
1902（明治35）年	・補習科の廃止（4月11日）

※ 1904（明治37）年2月6日～1905（明治38）年9月5日 日露戦争

1906（明治39）年	・高等小学校を設置（12月7日）尋常小学校、高等小学校は各々独立
1907（明治40）年	・尋常小学校が6年制に改められ義務教育に
1909（明治42）年	・尋常小学校と高等小学校を合併し、賀露尋常高等小学校と改称（8月）
1911（明治44）年	・新校地（1991年移転までの所在地）に校舎竣工（8月15日）

1906（明治39）年、賀露尋常小学校に高等小学校が設置されました。この時、高等小学校はまだ義務教育ではありませんでした、

1907（明治40）年、尋常小学校が4年制から6年制の義務教育になり、全国的に尋常小学校4年に高等小学校2年を加えた計6年制の尋常高等小学校が普及しました。

賀露尋常小学校は、1909（明治42）年に賀露尋常高等小学校となりました。

1911（明治44）年、現ふれあい広場に新校舎が竣工し、賀露小学校の教育がようやく軌道に乗りました。この時つくられた校訓（勤勉・協同・礼儀）は、永く賀露の子どもたちの教えの基になりました。



撮影 昭和3年



撮影 昭和9年

※ 明治45年3月 山陰線全通



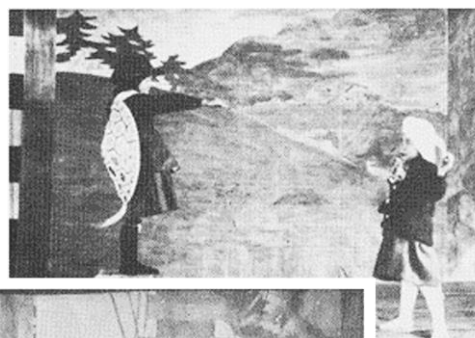
撮影時期 不明 大正初期と思われる

※ 大正元年(明治45)年、千代川の氾濫により大洪水が発生し、12,000戸余りが被害を受けました。その後も大正7年(家屋被害13,000戸余)、12年(家屋被害11,000戸余)と被害が重なり、大正15年に千代川改修が始まりました。

※ 1914(大正3)年7月28日~1918(大正7)年11月11日 第一次世界大戦

1917(大正6)年	・賀露実業補習学校を附設(4月12日)
1923(大正12)年	・校舎増築(3月6日落成) ・補習科女生徒の裁縫教授を開始 裁縫専科訓導(小学教員)設置

1917(大正6)年、賀露実業補習学校が附設されました。実業補習学校は、高等小学校、中学校、高等女学校などの中等教育に進学しない義務教育修了者で勤労に従事する青少年を対象に実業教育を行った学校です。初等教育機関(小学校)の補習機関であると同時に簡易な方法で生徒の従事する実業に関する知識・技能を授けることを目的としていました。この時代の賀露小学校校舎の図面には「水産教室」が記録されています。



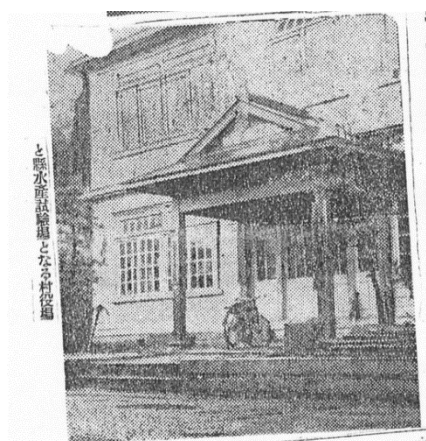
大正中期の学芸会の様子
出典 賀露校創立百周年記念誌

1929 (昭和 4) 年	・特別教室 (理科室・裁縫室・手工室等) 増築 (10 月 17 日落成)
1936 (昭和 11) 年	・校舎裏の桑畑を運動場に
1937 (昭和 12) 年	・賀露村が鳥取市と合併し、鳥取市賀露尋常高等小学校と改称

※ 1937 (昭和 12) 年 7 月 7 日 日中戦争開始

1937 (昭和 12) 年、賀露村が鳥取市と合併し、鳥取市賀露尋常高等小学校と改称しました。

この時賀露村は、役場庁舎と敷地を鳥取県水産試験場に寄附しました。昭和 17 年、水産試験場が県庁内に移転し、賀露町の旧本場は賀露分場となりました。その後、1949 (昭和 24) 年 11 月に岩美郡大岩村に新築移転されました。



水産試験場へ寄附する前の賀露村役場



賀露村役場前での記念撮影

1940 (昭和 15) 年	・屋外裏運動場 1,534 坪を新設
1941 (昭和 16) 年	・国民学校令により鳥取市賀露国民学校と改称
1943 (昭和 18) 年	・校舎を陸軍航空隊の宿舎に供用

1941 (昭和 16) 年の秋、鳥取市の戎座で市内小学校合同の学芸発表会を兼ねた、遺族をなぐさめる会が催されました。賀露小学校は 3・4 年生が代表として軍艦マーチを踊りました。写真はそのラスト・シーンです。当時この写真は、1 枚 80 銭で写してくれました。



1943 (昭和 18) 年、校舎を陸軍航空隊の宿舎に供用しました。高等科の児童は鳥取駅や鳥取造船所に動員され、初等科児童の大半は田畑で米や芋作り、海辺で塩作りに励みました。

- ※ 1943（昭和 18）年 9 月 10 日 鳥取地震
- ※ 1945（昭和 20）年 4 月 16 日 賀露保育園創立
- ※ 1945（昭和 20）年 8 月 15 日 太平洋戦争終結

1947（昭和 22）年	・ 6・3・3・4 制教育制度開始 鳥取市立賀露小学校と改称（4 月 1 日） ・ 高等科は廃止となり新制中学校へ編入
1948（昭和 23）年	・ 小学校旧工作室を改造後、賀露保育園移転開園（5 月 1 日） ・ 学校図書館の設置・賀露校新聞の発行 ・ 賀露健児の歌（5 年担任西原輝男作詞作曲）
1949（昭和 24）年	・ 学校簡易水道設置（3 月 10 日）

1948（昭和 23）年、賀露健児の歌ができました。

この頃、詩人校長松岡精久氏のもと、西元智完・西原輝男両教諭を中心に「本を読む運動」が繰り広げられました。校内の文化活動も推進され、この活動の一環として西原輝男教諭は「賀露健児の歌」を作詞作曲されました。



白浜グラウンドでの体育（剣道）の授業

賀露健児の歌

北に洋々日本海
背には中国山脈を
眼下に清き千代の
流れに育つ賀露の友
いざ ふるいたて 賀露健児

うるわし自然にめぐまれて
よき先輩の意をついで
平和な郷土をきづくため
日夜学びにいそしまん
いざ ふるいたて 賀露健児

1949（昭和 24）年、賀露小学校に簡易水道が設置されました。

水源は二区の旧三浦商店裏の井戸でした。それまで小学校には水道設備がなく、たいへん不自由な学校生活でした。賀露町に上水道が敷設されたのは昭和 28 年 2 月です。上水道敷設に伴い、簡易水道は 1953（昭和 28）9 月 23 日に撤去されました。

簡易水道施設



※ 賀露地区公民館

1946（昭和 21）年 7 月に出された文部次官通牒「公民館の設置運営について」を機に、全国で公民館の設置が始まりました。賀露町では、昭和 24 年 4 月に青空公民館（施設を持たないまま社会教育活動を行っていた公民館）ができました。

1953（昭和 28）年、鳥取市公民館設置条例に基づき、賀露小学校内に賀露分館として公民館ができました。その後、鳥取県水産試験場の建物に移転し、昭和 53 年に現在の公民館（鳥取市青少年研修センター兼賀露地区公民館）が完成するまで使用されていました。



賀露地区公民館 撮影 昭和 34 年

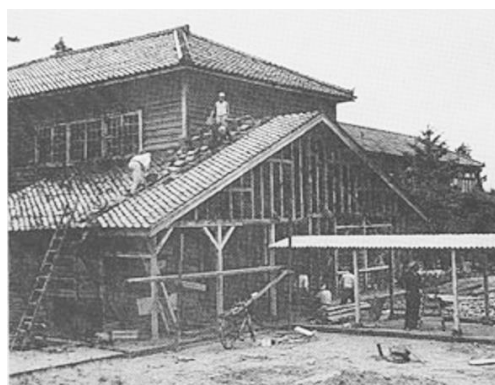
※ 賀露保育園竣工 1950（昭和 25）年 3 月 21 日



撮影 昭和 40 年

※ 1950（昭和 25）年 4 月 賀露灯台完成

1951（昭和 26）年、児童数増加による教室不足のため講堂を改造して校長室、職員室、会議室に改造しました。この年から新体育館が竣工する昭和 31 年までの 6 年間は、屋内体育、入学式、卒業式など、たいへんな不便を強いられました。



渡り廊下及び校長室の増築
昭和 31 年 6 月

※ 1952（昭和27）年4月17日 鳥取大火 この時、小学校は遠足中でした

1956（昭和31）年	・体育館新築 新築記念町民大運動会（6月3日）
1958（昭和33）年	・防火水槽兼プール竣工（6月11日） ・賀露小学校校歌制定
1961（昭和36）年	・鉄筋コンクリート3階建校舎第一期工事竣工式（5月17日） 9教室
1962（昭和37）年	・校舎建築第二期工事竣工式（3月21日） 6教室・便所 ・白浜グラウンド初期整地完了（5月） 鼓笛隊結成（10月1日）
1963（昭和38）年	・校舎建築第三期工事竣工式（2月1日） 管理棟・理科室 ・白浜大運動場竣工（4月） ・湖東地区学校給食センター完成に伴い完全給食開始（3月2日）
1964（昭和39）年	・無償教科書配布開始 初年度は1年～3年まで 昭和41年より全学年に配布

1956（昭和31）年、町民待望の新体育館が竣工し、竣工記念大運動会、竣工感謝式、記念学芸発表会、記念展覧会など様々な事業が催されました。



体育館竣工記念式典



体育館竣工記念大運動会

1958（昭和33）年 防火水槽兼プール竣工（6月11日）



校庭の片隅にあった池
撮影 昭和30年頃

※ 昭和 30 年頃の授業風景



1958（昭和 33）年 賀露小学校校歌制定

歌詞は一般に広く呼びかけ、鳥取大学学芸学部・川口義克助教授（昭和初期に当校で勤務）が補選し、同大学小泉恵助教授が作曲しました。



賀露小学校校歌 川口義克助 撰
小泉恵助 作曲

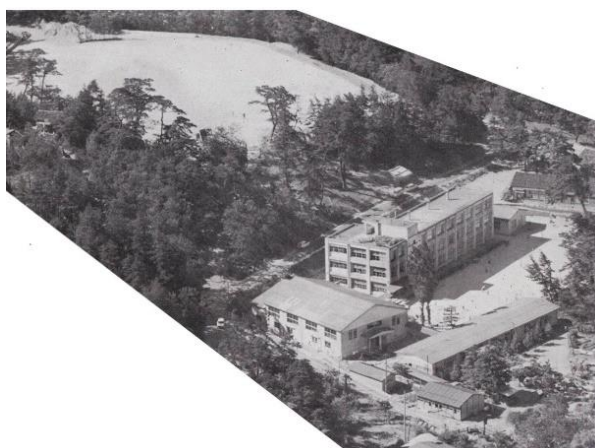
♩-88 *mf*

せんだいがわを したにみて おーりなばらひ
うたをさく まつかせよい このみかに
こゝろもたのしくつどいきてわれらはまな
ぶ おおーかるこり

1961（昭和 36）年、新校舎建設工事が始まりました。

旧校舎に用いられていた用材は、以前の校舎の用材を多数使用しており、老朽化が進んでいました。また昭和 18 年の鳥取大震災により基礎が沈下したため、補強工事を行ったものの脆弱な校舎となりました。応急修理の屋根瓦や主要柱の腐食など危険な箇所もたくさんありました。

1961（昭和 36）年 5 月より第一期新築工事が始まりました。またこの工事と並行して、白浜運動場の整備も手がけられました。昭和 39 年 2 月に管理棟、理科室の第三期工事が終了し、鳥取平野を見下ろす絶景の地に新しい小学校が完成しました。



※ 1964（昭和 39）年 10 月 東京オリンピック開催

1966（昭和 41）年	・ 特殊学級開設（5 月 2 日）
1968（昭和 43）年	・ 南隈、晩稲が校区となり新 1 年生より編入 ・ 新設プール竣工式（10 月 12 日）
1970（昭和 45）年	・ 教室不足初年度
1971（昭和 46）年	・ 鳥取市公設運動場のバックネットを白浜グラウンドに移設（9 月 16 日）
1972（昭和 47）年	・ プレハブの音楽室を建築 ・ 校庭開放事業の一環として、球形回転ジャングル、懸垂ブランコ、屋外肋木を設置（8 月 5 日）

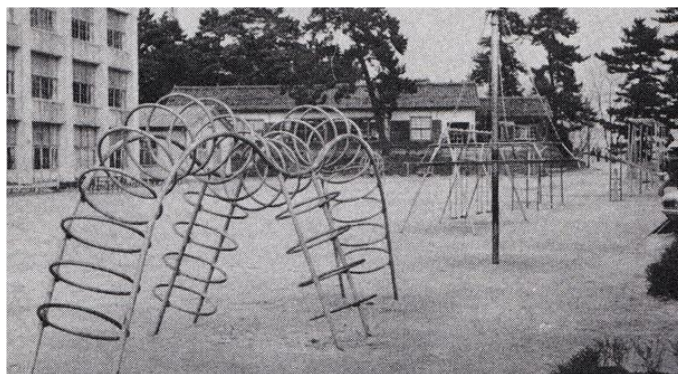
1971（昭和 46）年 鳥取市公設運動場のバックネットを白浜グラウンドに移設



1972（昭和 47）年 プレハブの音楽室建築



1972（昭和47）年 球形回転ジャングル、懸垂ブランコ、屋外肋木の設置



1973（昭和48）年	・賀露小学校創立100周年記念式典（5月8日） ・宿日直廃止
1975（昭和50）年	・校舎増築
1979（昭和54）年	・米飯給食開始（11月21日）
1981（昭和56）年	・特殊学級廃止
1988（昭和63）年	・校訓の設定（4月11日） 剛健・友愛・自学
1990（平成2）年	・賀露小学校全面移転事業起工式（11月20日）
1991（平成3）年	・新校舎へ移転（12月24日） 新校舎への登校開始（12月25日）
1992（平成4）年	・学校移転開校式（4月7日） 竣工記念碑建立 校旗新調 ・学校週5日制開始（9月12日）

1990（平成2）年 賀露小学校全面移転事業起工式

校舎の老朽化、狭隘な体育館、グラウンドやプールが校舎から離れているなど教育環境の悪条件が顕著になり、1985年（昭和60）頃から移転の声が上がりました。1987（昭和62）年には賀露小学校建築期成同盟が結成され、賀露町自治会をはじめ関係団体の多大な尽力により総合移転という理想的な形で移転新築が決定されました。

1990（平成3）年12月、明るい太陽に映えるスカイブルーの校舎が完成し、1992（平成4）年4月7日、学校移転開校式が開催されました。





木のぬくもりを感じる広い体育館



プラネタリウムのある多目的ホール

2000（平成12）年	・アスレチック風車広場竣工式（11月24日）
2002（平成14）年	・完全学校週5日制実施
2005（平成17）年	・学校二学期制開始
2006（平成18）年	・特別支援学級の再設置
2009（平成21）年	・校庭（2,000㎡）の芝生化
2020（令和2）年	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校開始 参観日、PTA総会、全校遠足、運動会等校内行事も中止 ・「鳥取市 GIGA スクール構想」により、校内ネットワーク工事及び教師用タブレット、児童用タブレットを配備

2000（平成12）年 アスレチック風車広場竣工式

アスレチック風車広場は、地域の子どもと住民の憩いの場として、また子ども達の世界教育の場として利用されることを願って設置されました。校内の築山に小型風力発電機4基、パーゴラ東屋の屋根に太陽光発電器、広場中央にはオーストラリア製揚水用風車を置いて地下水を汲み上げて池に水を供給しました。



2002（平成14）年 完全学校週5日制実施

学校週5日制は、学校、家庭、地域社会が協力して豊かな社会体験や自然体験などの様々な活動の機会を子どもたちに提供し、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」をはぐくむことをねらいとして始めました。

※ 2004（平成 16）年 11 月 1 日 新鳥取市誕生

※ 2021（令和 3）年 東京 2020 オリンピック

2005（平成 17）年 学校二学期制開始

『学校 2 学期制』は、各学校が独自の学校づくりを創意工夫し、学校教育で身につけさせたい様々な力を、教職員と子どもとのかかわり（ふれあい）をとおして身につけさせるための方策の一つです。（引用 Tottori City News Letter 2005.3.15）

2020（令和 2）年 鳥取市 GIGA スクール構想

鳥取市 GIGA スクール構想は、Society5.0 時代を生きる子どもたちが、主体的に考え、他者と協働しながら、よりよい社会を創り出していく力を育むために、ICT（情報通信技術）を基盤とした先端技術の効果的な活用を進める構想です。

賀露小学校でも校内の通信ネットワーク（校内無線 LAN）を整備し、教師や児童に 1 人 1 台の端末（iPad）が配備されました。

※ Society 5.0（ソサエティー5.0）

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会

2023（令和 5）年

・賀露小学校創立 150 周年記念行事（10 月 11 日）



引用資料

90年の歩み（創立90周年記念誌 鳥取市立賀露小学校・鳥取市賀露教育振興会）
賀露校創立百周年記念誌（鳥取市立賀露小学校・賀露小学校創立百周年記念事業実行委員会）
五十歳記念誌（賀露小学校昭和十二年卒業生・広沢栄一）
賀露小学校のうつりかわり（賀露小学校移転新築竣工記念事業委員会）
賀露誌（賀露町自治会）
賀露神社ホームページ
寺報 松の声

資料提供

鳥取市立賀露小学校
賀露地区公民館
西念寺
大谷淑子
大黒 進

製 作

賀露小学校創立150周年を祝う会

